



朗読音声のダウンロード  
Audio download

こ やまちょうじゃ  
湖山長者

かね も はなし  
～ちょっとざんねんなお金持ちの話～



よ まえ  
★読む前に Before you read

たどく よ かた  
《多読の読み方》

たどく ほん たの よ にほん  
多読とは、とてもやさしい本から楽しくたくさん読んで日本  
ごをみにつけていく方法です。

つぎ たの よ  
次の4つのルールを守って楽しく読みましょう。

1. やさしいレベルから読む
2. 辞書を引かないで読む
3. わからないところは、とばして読む
4. 進まなくなったら、他の本を読む



《How to do Tadoku》

Tadoku recommends that everyone should start with very easy books and enjoy a lot of them following the 'Four Golden Rules' below.

1. Start from scratch.
2. Don't use a dictionary.
3. Skip over difficult words, phrases and passages.
4. When the going gets tough, quit the book and pick up another.





<sup>いけ</sup> <sup>いけ</sup> <sup>なまえ</sup> <sup>こやまいけ</sup>  
これは池です。池の名前は「湖山池」です。



<sup>こやまいけ</sup> <sup>ひろ</sup> <sup>た</sup>  
湖山池はむかし、広い田んぼでした。

<sup>た</sup> <sup>ぜんぶ</sup> <sup>いけ</sup>  
ある日、田んぼが全部、池になりました。

<sup>いけ</sup>  
なぜ、池になったのでしょうか。

<sup>とっとりけん</sup> <sup>ばなし</sup>  
これは鳥取県のむかし話です。





<sup>かねも</sup> <sup>かねも</sup>  
 むかし、お金持ちがいました。このお金持ち  
<sup>ひろ</sup> <sup>た</sup> <sup>いえ</sup> <sup>きん</sup> <sup>ぎん</sup>  
 は、広い田んぼと、りっぱな家と、金、銀をたくさ  
<sup>も</sup> <sup>むら</sup> <sup>ひと</sup> <sup>かねも</sup>  
 ん持っていました。村の人たちは、このお金持  
<sup>こ</sup> <sup>やま</sup> <sup>ちやう</sup> <sup>じゃ</sup> <sup>よ</sup>  
 ちを「湖山長者」と呼んでいました。



<sup>に</sup> <sup>ほん</sup> <sup>は</sup> <sup>る</sup> <sup>たう</sup> <sup>こめ</sup> <sup>つく</sup>  
 日本では、春に田植えをして、米を作ります。  
<sup>ちやう</sup> <sup>じゃ</sup> <sup>いえ</sup> <sup>いち</sup> <sup>にち</sup> <sup>たう</sup> <sup>お</sup>  
 長者の家では、「一日で田植えを終える」と、  
<sup>き</sup> <sup>まい</sup> <sup>とし</sup> <sup>ちやう</sup> <sup>じゃ</sup>  
 むかしから決まっていた。毎年、長者はたく  
<sup>ひと</sup> <sup>つか</sup> <sup>ひろ</sup> <sup>た</sup> <sup>たう</sup>  
 さんの人を使って広い田んぼの田植えをしまし  
<sup>たう</sup> <sup>いち</sup> <sup>にち</sup> <sup>お</sup>  
 たので、田植えは一日で終わっていました。





ことし たう はじ むら ひと  
今年も田植えが始まりました。村の人がたく  
てつだ あさはや はたら  
さん手伝います。みんな朝早くから働きます。  
ちやうじゃ ことし いちにち たう お かんが  
長者は、今年も一日で田植えが終わると考  
えていました。

ひ ひる ちか やま き  
その日の昼、近くの山からサルが来ました。  
かあ こ ひとり  
お母さんのサルと子どものサルでした。一人の  
おんな ひと み  
女の人がサルを見つけました。そして「サルだ、  
サルだ」  
おお こえ い  
と大きい声で言いました。





サルはびっくりして走り始めました。みんなは、  
サルが遠くの山に帰るまで見ていました。

サルを見たのは少しの時間でした。しかし、  
仕事は大きく遅れました。



夕方、長者が田んぼに来たとき、田植えは、  
まだ終わっていませんでした。長者は青くなりました。  
「家の決まりは一日で田植えを終える  
こと。これでは今年には田植えが終わらない」



「よし、お日さまをもどして、夜になるのを  
遅くしよう」と言いました。長者は家から金の  
おうぎを持ってきました。

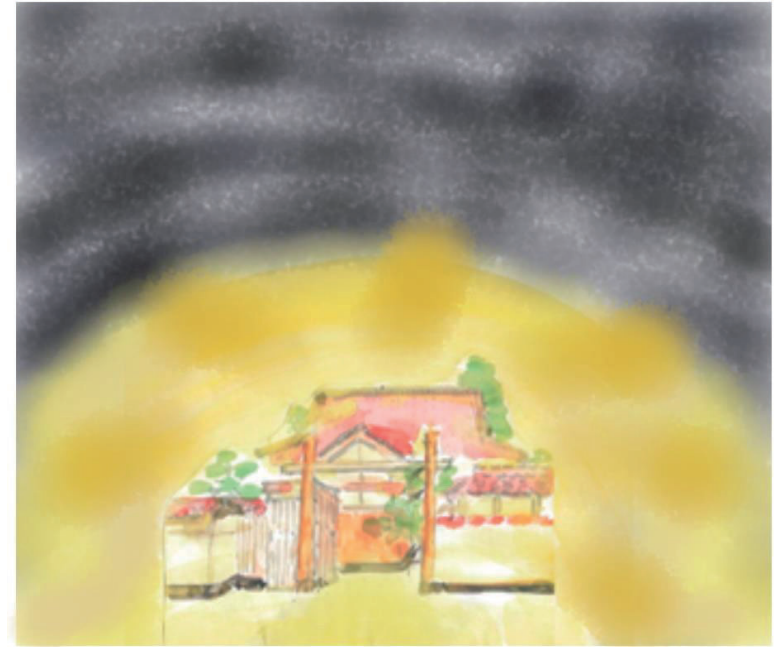


そして、お日さまに「もどれ、もどれ。田植え  
が終わるまでそこにいろ」と言いながら、おうぎ  
を三回ふりました。すると、お日さまがすっすっ  
すっと高くもどりました。

ちようじゃ い  
長者はみんなに言いました。

「さあ、みんな、<sup>たう つづ</sup>田植えを続けよう。<sup>たう</sup>田植えが

<sup>いちにち お</sup>一日で終わるように」

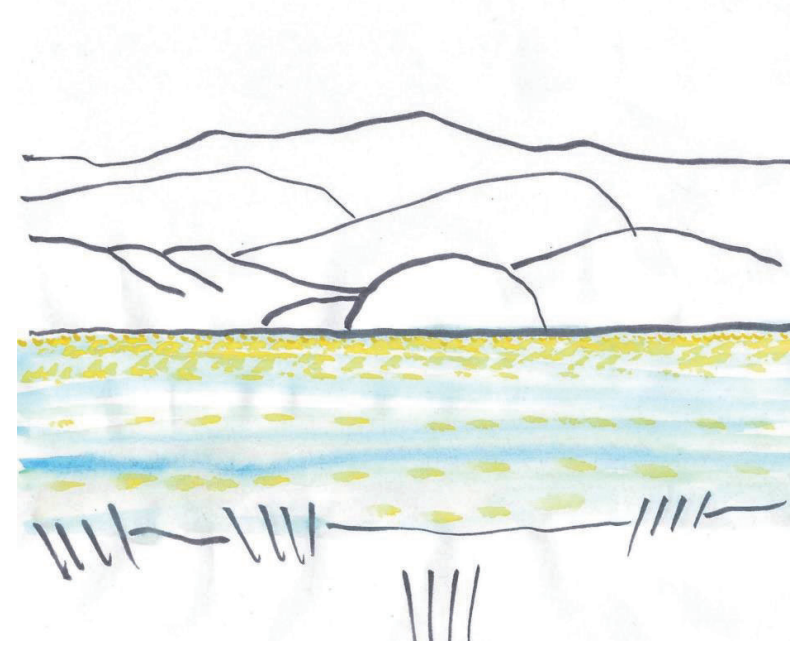


<sup>たう いちにち お</sup>田植えは一日で終わりました。<sup>ちようじゃ</sup>長者はその  
<sup>よる いえ しょうたい</sup>夜、みんなを家に招待しました。<sup>さけ</sup>みんなはお酒  
<sup>の</sup>をたくさん飲みました。<sup>ちようじゃ うた おど</sup>長者は歌って踊りました。





みんながお酒を飲んでいるとき、外では  
大変なことが起こっていました。たくさんの水が  
長者の田んぼに流れて入ってきました。そして  
水は、夜の間に田んぼを水の下に深くかくし  
てしまったのです。



次の朝、田んぼはもうありませんでした。そ  
のかわりに、広い広い一つの池、今の湖山池  
がありました。

長者の田んぼは全部、なくなってしまいました。



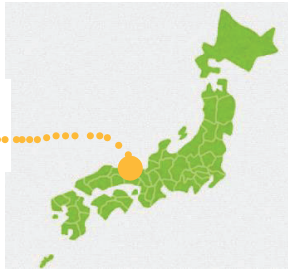
どうして水が出てきて長者の田んぼを水の

した  
下にかくしてしまったのでしょうか。

むら ひと ちやうじゃ ひ  
村の人は、「長者がお日さまをもどしたので、

かみさま おこ い  
神様が怒ったからだろう」と言いました。

とっとりけん こやまいけ  
鳥取県の湖山池



さいわ とよたま き おおいたはつ よ つく かい  
再話：豊田真規（大分発わくわく読みものを作る会）

イラスト・図：

とよたま き  
豊田真規

いらすとや

illustAC

EVENTs Design

さんこうぶんげん  
参考文献：

日本児童文学者協会編（1978）「湖山長者」『ふるさとの民  
話7 鳥取県』偕成社

野津龍（1979）「湖山長者」『子どものための鳥取の伝説』

鳥取大学教育学部/San'in Hoso

鳥取県小学校国語教育研究会編（1985）「まいもどったお  
てんとうさん」『鳥取のおかし話』日本標準

ほん なか に じしやう きん  
この本の中のイラストの二次使用を禁じます。

